

新規事業採択時評価結果（平成27年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

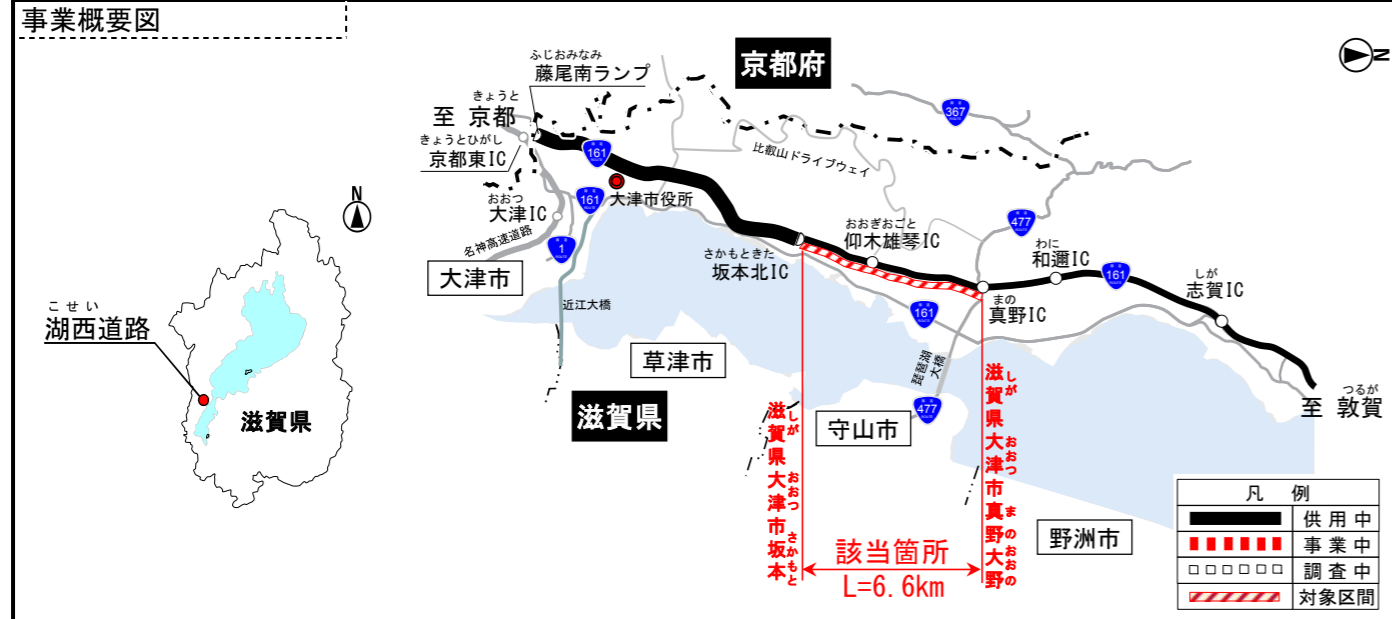
事業の概要

事業名	一般国道161号 湖西道路（真野～坂本北）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：滋賀県大津市真野大野 至：滋賀県大津市坂本	延長	6.6km		

事業概要
一般国道161号は、福井県敦賀市を起点に滋賀県湖西地域を縦断し、滋賀県大津市に接続する、北陸地方と京阪神を最短距離で結ぶ重要幹線道路である。このうち、湖西道路（真野～坂本北）は、大津市北中部に位置し、国道161号バイパスとして暫定2車線で供用された、琵琶湖西縦貫道路の一部を構成する延長6.6kmの道路である。

事業の目的、必要性
当該区間の4車線化整備により、交通渋滞の緩和、交通事故の減少を図るとともに、速達性、定時性、アクセス信頼性の向上により、観光消費を通じた地域経済活性化及び救急医療活動の支援に寄与するものである。

全体事業費：約90億円
計画交通量：約42,900台/日



関係する地方公共団体等の意見

【滋賀県知事】
一般国道161号湖西道路（真野～坂本北）の予算化については同意します。
国道161号は北陸圏と近畿圏を連携し、大津・湖西地域の生活の向上、経済の活性化、産業の振興、文化の交流等に寄与するとともに、大規模災害時の避難道路や緊急輸送道路として大きな役割を果たす重要な路線であります。
しかしながら、当該事業箇所は、交通事故や交通渋滞等が多発しており、以前から4車線化の新規事業化について強くお願いしているところです。また、地元自治体や住民におきましても、課題解消のため当該事業の新規事業化と早期完成を強く望んでおります。

学識経験者等の第三者委員会の意見

新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。
S49.7 4車線の自動車専用道路として事業許可（日本道路公団）、S56に暫定2車線整備に事業内容変更（用地は4車線分取得）

事業評価結果

費用対便益	B/C	7.2	総費用：89億円 （事業費：71億円 維持管理費：18億円）	総便益：635億円 （走行時間短縮便益：580億円 走行経費減少便益：37億円 交通事故減少便益：19億円）	基準年：平成26年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=5.9 (交通量 -10%)	B/C=8.5 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=6.6 (事業費 +10%)	B/C=7.8 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=7.0 (事業期間 +20%)	B/C=7.3 (事業期間 -20%)		

事業の影響	評価項目	評価	根拠	
			自動車や歩行者への影響	社会全体への影響
自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・4車線化に伴い、十分な交通容量を確保し渋滞を解消。 【4車線化による所要時間の短縮】 西大津バイパス（藤尾南ランプ）～湖西道路（真野IC）間の所要時間（混雑時） 整備前 28分 → 整備後 16分（12分短縮）	
	事故対策	◎	・渋滞解消に伴い、渋滞が要因と考えられる死傷事故が減少。 ・整備済の西大津バイパスでは、並行する国道161号を含め死傷事故率が減少 【死傷事故率の減少】 湖西道路 現況 23件/億台 [※] → 整備後 9件/億台 [※] 西大津バイパス 4車線整備前 27件/億台 [※] → 整備後（実績）9件/億台 [※] 国道161号 4車線整備前 118件/億台 [※] → 整備後（実績）74件/億台 [※]	
	歩行空間	—	注目すべき影響はない。	
社会全体への影響	住民生活	○	・第三次医療施設（大津赤十字病院）へのアクセスルート信頼性が向上し、安心・安全な住民生活を確保。 ・高島市の第三次救急医療施設への60分圏域人口が増加。 【高島市の第三次医療施設への60分圏域人口】 現況（混雑時）約4.6万人 → 整備後 約5.1万人（約5千人増加）	
	地域経済	○	観光施設への速達性、定時性が向上し、広域観光の活性化に貢献。	
	災害	—	注目すべき影響はない。	
	環境	—	注目すべき影響はない。	
	地域社会	—	注目すべき影響はない。	
事業実施環境		○	・完成4車線分用地取得済み ・滋賀県知事、大津市長、高島市長より湖西道路（真野～坂本北）の早期事業化を要望。	

採択の理由

・費用便益比が7.2と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。
・また、当該区間の渋滞緩和や事故削減ならびに地域経済等への効果が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。